

働き方改革・産業人材確保対策 特別委員会資料

令和3年11月2日（火）

教育委員会

目次

キャリア教育の推進について

- | | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | 本県のキャリア教育の推進について | 1 |
| 2 | 小中学校のキャリア教育の取組について | 3 |
| 3 | 県立高等学校のキャリア教育の取組について | 5 |

キャリア教育の推進について

高校教育課
義務教育課
生涯学習課

1 本県のキャリア教育の推進について

(1) 目標

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる

(2) 基本方針

- ① 小・中・高等学校等の『縦』の連携を図りながら、発達の段階に応じたキャリア教育を進める。
- ② 学校と家庭・地域社会・企業等との幅広い『横』の連携を図りながら、キャリア教育を進める。
- ③ 宮崎県の産業、地域性に配慮し、宮崎県独自の課題やニーズに対応したキャリア教育を進める。

(3) キャリア教育の取組

① 宮崎県キャリア教育支援センター

ア 宮崎県キャリア教育支援センターとは

本県のキャリア教育を推進するため、平成28年5月に宮崎県教育研修センター（宮崎市阿波岐原）内に宮崎県キャリア教育支援センターを設置した。

現在、センターに5名のコーディネーターを配置し、教職員や学校さらには市町村に対して、キャリア教育に関するさまざまな支援を行っている。



<宮崎県キャリア教育支援センター>

イ 宮崎県キャリア教育支援センターの活動

1) 研修の支援

- 学校の教職員研修に対する支援
キャリア教育に対する職員の意識を高めたり、理解を深めたりする講話や演習等を行う。
- 市町村教育委員会の職員研修に対する支援
コーディネーターや外部人材を派遣して講話や対談を行う。

2) 教育活動への支援

- 職業人講話を行う人材の紹介
学校の授業において、地元の良さや地元で働く人の魅力、生き方について子どもたちと語り合う人材を紹介する。
- 目的に合った団体の紹介
学校の授業の中での対談において、目的に応じた団体を紹介する。
- 職業人講話の実施方法に関する支援
研修方法や実施方法について、学校への助言や支援を行う。

3) その他の支援

- キャリア教育に関する情報の提供
小・中・高等学校及び特別支援学校の連携の仕方や先進校での実践事例等、キャリア教育推進のアイデアとなる情報を提供する。
- 市町村が立ち上げるキャリア教育支援センターへの支援
センター設置やコーディネーターの配置についての助言・支援を行う。
現在、日向市、延岡市、小林市、高鍋町、都農町、日南市（センター的機能を有する）に設置されている。

② 県民総ぐるみ教育推進研修会

県内7地区で、学校・地域・企業関係者等が一同に集い、地域人材を活用した研究授業や実践発表、協議会等を実施し、これからのみやざきを担う人材育成や、地域の活性化に資する研修会を開催している。



<ワークショップの様子>



<各班の協議内容についての発表>

③ アシスト企業による教育協働活動

専門性や人材など豊富な教育的資源を有する企業等と連携・協働し、企業等が積極的に学校・家庭・地域の教育活動に参画できる環境を整備し、地域ぐるみの教育支援システムの普及・発展を図ることを目的としている。

この理念に賛同し、出前授業等により子どもたちに働く喜びを教えたり、職場見学や体験活動等を提供したりする企業を「アシスト企業」と呼び、企業バンクに登録している。令和3年10月現在、279社が登録している。

2 小中学校のキャリア教育の取組について

(1) 小学校の取組

県内の小学校では、自分や他者へ積極的に関心をもつことや、身のまわりの仕事や環境への興味をもつこと、また、勤労を重んじ、目標に向かって努力する態度を身に付けることなどをねらいとしてキャリア教育に取り組んでおり、発達段階に応じて全県的に次のような取組が実践されている。

- 地域とふれあう学習や地域のよさを知る学習
 - ・ まち探検
 - ・ 昔の遊び体験
 - ・ 保育園児との交流活動 など
- 地域とより深く関わったり、ふるさとのよさを発信したりする学習
 - ・ 学校付近の自然（川）の調査や見学
 - ・ ○○づくり体験
 - ・ 調べたことを地域の人や下級生へ発表 など
- 体験をもとに、地域の課題や自分ができることを考える学習
 - ・ 福祉体験
 - ・ 地域で働く方からの講話
 - ・ レポート作成や発表会 など



<講話の様子>

(2) 中学校の取組

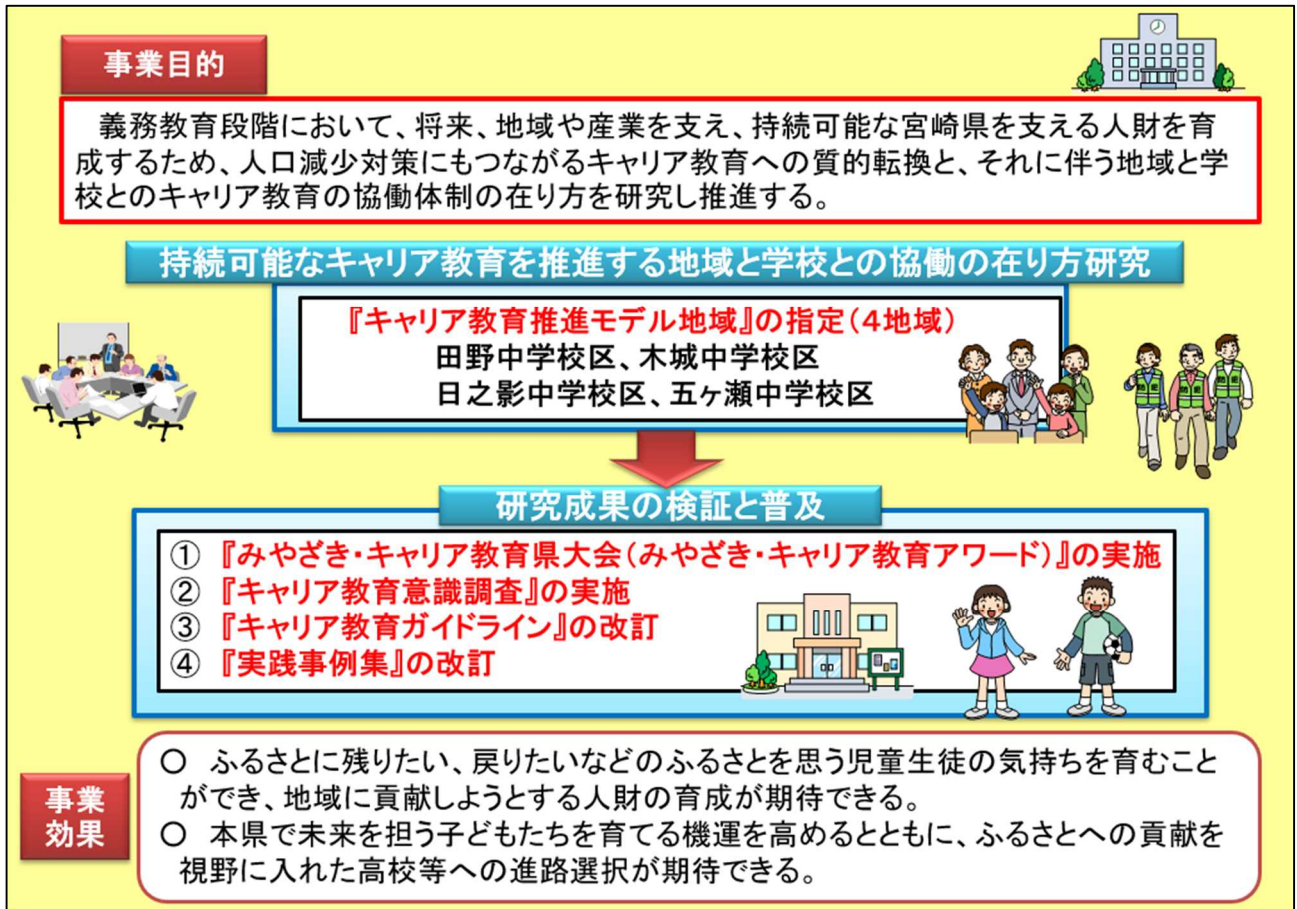
県内の中学校では、自己肯定感や自己有用感を獲得すること、自分の興味・関心に基づいた勤労観・職業観を身に付けることなどをねらいとしてキャリア教育に取り組んでおり、将来の生き方や進路選択を踏まえ、全県的に次のような取組が実践されている。

- 自分の将来について考える学習
 - ・ 性格や行動面、また好きな教科や苦手な教科の面などから今の自分について分析する活動
 - ・ 自分の将来について考える活動
 - ・ 将来のために、今がんばらなければならないことを考える活動 など
- 職業についての学習
 - ・ 職業を調べる学習
 - ・ 職場体験学習
 - ・ さまざまな職種の方からの講話 など
- 地域に貢献する学習
 - ・ 地域行事への参加
 - ・ 地域でのボランティア活動 など



<職場体験学習の様子>

(3) 宮崎の未来を築くキャリア教育研究推進事業（概要）



キャリア教育推進モデル地域の取組について

- ① 田野中学校区
 - 目標は、ふるさとのよさに気付き、地域のことを深く知ろうとする態度の育成
 - 2小1中が連携し、「地域の力」を生かした教育活動を展開
 - 昨年度は、組織作りに重点を置き、職員研修などを実施
- ② 木城中学校区
 - 目標は、ふるさとを愛し、心身共にたくましく、意欲をもって主体的に学ぶ児童生徒の育成
 - 義務教育学校開校に向けたキャリア教育推進のための組織作りを中心に研究
 - 昨年度は、町民と教職員が木城の子どもたちのよさや課題を語り合う場を設定
- ③ 日之影中学校区
 - 目標は、ふるさとへの愛着と誇りをもち、自分の夢に向けて行動できる児童生徒の育成
 - 教育課程の工夫や体験活動の充実を図りながら研究
 - 昨年度は、中山間地域の課題解決に向けての学習成果を発表
- ④ 五ヶ瀬中学校区
 - 目標は、持続可能で教科横断的なキャリア教育の在り方を究明すること
 - 小・中学校9年間を見通した研究
 - 昨年度は、宮崎大学と連携し、キャリア教育に関する児童生徒用の読み物資料を発行

3 県立高等学校のキャリア教育の取組について

(1) 高等学校の取組

これまでの高等学校のキャリア教育は、大学等の進路先調べや、職業講話で終わりがちであった。しかし、「総合的な探究の時間」の学びにみられるように、近年は自己の在り方生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成するような取組が実践されている。

(2) 各学科の取組

① 普通科の取組

<飯野高校>

- 学科・コースごとにすべての生徒が地域をフィールドに探究活動を行い、地域の団体と連携して生徒主体のイベントを実践するなど、地域社会で活躍する人材（グローバル・ヒーロー）の育成を行っている。

<延岡高校>

- 生徒の視野を広げることを目的に、「総合的な探究の時間」において、科学技術の専門的知識を持っている地域の方々が、指導やアドバイスを行うメンターとして関わっている。

② 工業科の取組

<延岡工業高校・日向工業高校>

- 企業経営者や若手社員の方々を学校に招き、各学科(各クラス)で話をしていただく、「教えて先輩」の取組を行っている。

③ 農業科の取組

<都城農業高校・高鍋農業高校>

- 都城農業高校(農業科、食品科学科、畜産科、ライフデザイン科2年生)、高鍋農業高校(フードビジネス科2年生)において総合実習の時間に連携企業に赴き、長期の実習体験を行っている。

※ R2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、実施できなかったものもある。

④ 商業科の取組

<延岡商業高校>

- 長期化するコロナ禍が観光・宿泊業をはじめ、経済活動に大きな影響を与えていることを踏まえ、自治体、地元企業と協働しながら探究的な学びを実施している。

⑤ 家庭科の取組

<宮崎農業高校>

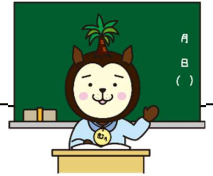
- 地域課題解決に取り組む企業4社をインタビューし実際に体験することで、「社会貢献の意義」について学びを深めている。

⑥ 福祉科の取組

<妻高校>

- 見守り介護ロボットや電動ケアベッド等について、介護用具業者を学校に招き、最新機器の講習会を実施している。

宮崎県のキャリア教育の全体構想図（案）



キャリア教育

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育

みやざきのキャリア教育

- ◇ 地域を学びのフィールドとし、「人・もの・こと」を存分に生かしたキャリア教育 【学びの枠組み】
- ◇ 学校・家庭・地域・産業界・行政等が連携し、一体となって進めるキャリア教育 【横の連携】
- ◇ 学びをしっかりとつなぎ、経験を積み上げていくキャリア教育 【縦の接続】

自立した社会人・職業人の育成

